

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38 TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256 E-mail info@hamt.or.jp  
 編集委員 住ノ江 功夫 / 西田 純子 / 大塚 淳平 / 田中 祐紀子 / 湊 宏美 / 黒木 知佳 / 森川 貴道 / 高田 稜雅 / 忍海邊 康祐 / 岡村 大輔 / 西村 崇弘 / 藤原 淳美  
 臨床検査情報センター URL http://www.hamt.or.jp

**CONTENTS**

- 特集！臨床検査技師を知っていただくために！！[加古川中央市民病院の取り組み] ..... 1
- 第62回 大韓臨床病理士協会総合学術大会に参加して、令和6年度 第1回 東播地区ナイトセミナーを開催して、令和6年度 第1回 東播地区ナイトセミナーに参加して、#研究班(輸血検査研究班) ... 2~3
- [第5回] 突撃！となりの検査室(兵庫県立淡路医療センター)、今後の予定 ..... 4
- 会員グルメ情報 ..... 5

## 特集！臨床検査技師を知っていただくために！！

### 加古川中央市民病院の取り組み ~高校での職業講話を通して感じたこと~

皆さんは、一般の人々がどれくらい臨床検査技師を認知しているかご存知ですか？昨年度、共同PRにより実施された認知度調査によると、看護師や薬剤師の認知度は60%以上であるのに対し、臨床検査技師の認知度は22.7%という結果でした。この結果を受け、日臨床でも認知度向上のためにポスター募集などの取り組みが行われており、認知度を高めるための活動の必要性がますます高まっている状況です。



さて、私は以前から母校である兵庫県立大学附属高等学校で開催されるOB・OG社会人職業講話会に毎年参加し、在校生に講話を行っています。今年度も7月5日(金)に参加しました。この会では、進路選択の時期にあたる第2学年の生徒に対して、職業の実態を知ってもらうことを目的に、さまざまな職種の卒業生10人ほどが集まり、仕事の内容や苦労話、学生時代の経験などを話します。私の講話にも、毎年40名前後の生徒が臨床検査技師に興味を持って話を聞きに来てくれます。

講話では、学生時代の経験、病院や地方衛生研究所での業務を中心に、臨床検査技師が現場でどのように活躍しているかを、実際の経験に基づいて話しています。生徒からの感想には、「実施している検査が多くてびっくりした」や「臨床検査技師が何をしているのか知らなかったので、詳しく知ることができて良かったです」など、臨床検査技師の仕事内容を初めて知ったという意見が多くありました。さらに、「興味を持つことができ、仕事の選択肢の一つになった」との感想もいただき、認知度向上に一定の効果があったことを実感します。

また、今年度は新たな試みとして、講話会に参加した生徒に臨床検査技師に関するアンケート調査を実施しました(回収35名)。興味深いことに、「臨床検査技師のことを知らなかった」あるいは「名前は知っているが、業務内容は知らない」という生徒が89%にのぼり、一般の認知度調査よりも10%以上低い結果となりました。「臨床検査技師が行っている検査はどれでしょうか?」という質問では、採血や血液検査、心電図など複数の選択肢から回答してもらったところ、臨床検査技師が採血できることを知っている生徒は45%、X線検査を臨床検査技師が行っていると思っている生徒は68%いました。この結果からも、臨床検査技師の業務範囲が曖昧であり、高校生にその存在がほとんど知られていないことが明らかとなりました。次代を担う高校生の認知度がこの状態では、優秀な人材を確保することが難しく、臨床検査技師の認知度向上への取り組みは喫緊の課題であると改めて感じました。

「横田さんの話を聞いて臨床検査技師になりました」という卒業生に残念ながらまだ会ったことはありませんが、それを夢見て、今後も微力ながら活動が続けていきたいと考えています。本報告が会員の皆様の危機感を少しでも刺激し、臨床検査技師の仕事を広める活動の一助になれば幸いです。(文責：横田 隼一郎 会員)

アンケート結果

アンケート結果		
<p><b>兵庫県立大学附属高等学校 職業講話会アンケート調査結果まとめ</b></p> <p>加古川中央市民病院 臨床検査部 横田 隼一郎</p>	<p><b>アンケート概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施日 2024年7月5日(金)</li> <li>アンケート対象者 職業講話会(臨床検査技師)に参加した高校2年生35名</li> <li>うち4名 表記忘れのため、Q5~Q9は31名の回答</li> <li>Q1, Q6は複数選択の設問ではなかったが、複数選択がいたため、複数選択したのもも反映させた。</li> <li>アンケート内容 次スライド以降に結果とともに記載した。なお、アンケートは職業講話会実施前に行った。</li> </ul>	<p><b>Q0. 回答者の方は理系? 文系?</b></p>
<p><b>Q1. 仕事を選ぶうえで一番優先したいことは何ですか? (複数選択可)</b></p>	<p><b>Q2. 仕事や職業についての話は何歳ぐらいに聞くのが良いと思いますか?</b></p>	<p><b>Q3. 職業についての情報は主に何から収集しますか? (複数選択可)</b></p>
<p><b>Q4. 臨床検査技師を知っていますか?</b></p>	<p><b>Q5. 臨床検査技師が国家資格を必要とする職業であると知っていましたか?</b></p>	<p><b>Q6. 今回、臨床検査技師の話を聞いてみたいと思った理由は何ですか? (複数選択可)</b></p>
<p><b>Q7. どういった内容の話に興味がありますか? (複数選択可)</b></p>	<p><b>Q8. 次の仕事のうち、臨床検査技師が行っている(行える)検査はどれだと思いますか? (複数選択可)</b></p>	<p><b>Q9. 健康診断も含め、1年間に医療機関にどのくらい受診していますか?</b></p>

組織

第62回大韓病理士協会総合学術大会に参加して

鳥居 洋祐 会員 (兵庫医科大学病院)

第62回大韓臨床病理士協会総合学術大会が8月30日・31日に開催され、ポスター発表者として参加させていただきました。台風10号による交通機関への影響で参加できるかどうか不安でしたが、無事に仁川国際空港に到着することができました。

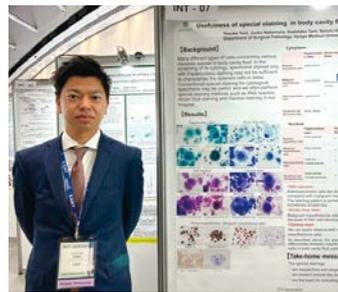
初めての海外の学会に参加するだけでなく、日本臨床検査技師会の横地会長をはじめ、副会長や理事の方々も参加されており緊張していました。一緒に食事をとりながら気さくに話かけていただいたお陰で緊張もほぐれるとともに、大変感激しました。

その中でも特に印象に残っているのは、始めの挨拶での「滞在期間の間に、最低一度は海外の方と英語で話してみましよう。」という横地会長からのお言葉です。私も海外に来たからには必ず、一度は英語で会話して帰ろうと心に決めました。学会場の展示ブースで、勇気を出して英語で話してみたところ、会話が成立したので安心しました。後で「もう少し違ったニュアンスの方がよかったのかな。もう少しこの単語を知っておいた方が良かったな。」などいろいろ考え、次第にもっと英語を勉強したいという気持ちが強くなりました。会長が仰っていた理由を改めて理解できました。

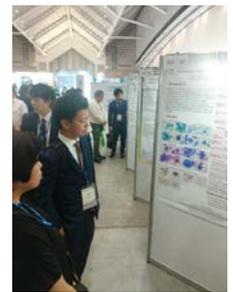
近年は、英語翻訳機や携帯で同時翻訳機能があり英語を話さなくても海外の方と意思疎通できますが、今回の海外発表を通じて、実際に会話をする事で、微妙なニュアンスで自分の考えや思いを伝えることができ、会話を行う上で英語力の大切さを、改めて認識することができました。そのため、日頃から英語に触れる機会が必要であると思いました。またこの学会で普段中々接することが少ない他の検査領域の方々とも話すことができ、臨床検査技師としての繋がりの大切さを改めて感じることができました。

このように海外の学会への参加支援があるということがもっと認識され、多くの若手技師が体験できると良いと思いました。

発表に伴い、ご指導いただきました小松京子理事、そしてご支援くださった職場の皆様へ感謝申し上げます。また横地会長をはじめ日臨技関係者、貴重な時間を共有できた方々に心より御礼申し上げます。



鳥居 洋祐 会員



ポスター風景



日臨技参加メンバー

第62回大韓病理士協会総合学術大会に参加して

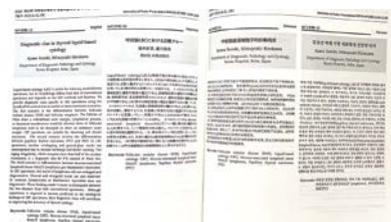
鈴木 彩菜 会員 (隈病院)

令和6年8月29日から31日にかけて、韓国・仁川で開催された第62回大韓臨床病理士協会総合学術大会に参加しました。台風10号が自転車並みのスピードで日本列島に迫る中、日臨技からは41名が参加しました。台湾とインドからの参加者もあり、抄録集はなんと4カ国語で表記されていました。

私の発表演題は「甲状腺液状化検体細胞診における診断クルー」で、数分間のポスター発表を行いました。短い発表時間でしたが、自分の英語力を鍛える良い経験となりました。2日目の夜にはソーシャルツアーに参加し、チャイナタウンでジャージャー麺を食べたり、ボートに乗ったりして韓国の雰囲気を堪能しました。

3日間という短い時間でしたが、韓国の検査技師の方々が温かく接してくださったおかげで、非常に充実した学会出張となりました。また、朝から晩まで共に過ごした日臨技メンバーとは、特別な絆が生まれたように感じています。日臨技会長の横地先生が初日の挨拶でおっしゃった「国際学会で主張できる技師になってほしい」という言葉を胸に、今後も国際学会に挑戦していきたいと思えます。

今回の学会参加は、日臨技国際活動WGの企画によるもので、日臨技が様々な面で手厚くサポートしてくれました。これから国際学会に挑戦する方々には、ぜひおすすめしたいです。



抄録集



鈴木 彩菜 会員



ソーシャルツアー

## 令和6年度第1回東播地区ナイトセミナーを開催して

西田 純子 会員 (東播地区理事)

去る8月30日(金)、第1回東播地区ナイトセミナーをWebで開催いたしました。当初は現地参加を含むハイブリッド開催を予定しておりましたが、台風の影響により急遽Webのみの開催に変更させていただきました。

講演では、「医療DXでできる臨床検査技師の貢献」をテーマに、アボットジャパン合同会社の西田智明氏にご講演いただきました。今年度から「医療DX推進体制整備加算」が新設されたこともあり、東播地区以外からも参加者がおられ、非常に関心の高い内容であると感じました。DXに関して具体例を交えた説明や、国の政策、タスク・シフト/シェア、さらには医療DXによる業務効率化まで、盛りだくさんのお話をいただきました。

講演後には質問もあり、対面ではないながらも、参加者の皆様と有意義な時間を共有できました。台風の影響もありましたが、無事に開催できたことを、関係者の皆様に感謝申し上げます。今後も天候や交通事情などを考慮し、東播地区の皆様が少しでも多く参加できるよう努めてまいります。



司会：西田 純子 会員 (東播地区理事)



西田 智明 先生 (アボットジャパン合同会社)

## 令和6年度第1回東播地区ナイトセミナーに参加して

織田 順子 会員 (加東市民病院)

今回、台風10号が接近している中で、Zoomを利用して受講できたことは、まさにデジタルの恩恵だと感じました。医療DXは、デジタル技術を活用して医療分野を変革し、質の高い医療と介護を実現するものであると、具体例を交えながら大変わかりやすく講義していただきました。政府が推進している『全国医療情報プラットフォーム』は、いよいよ令和7年度から運用が予定されています。医療機関の通信方式を統一し、データを集約することで業務効率化が進み、精度管理だけでなく、品質保証や診断支援にもつながり、それが臨床検査技師の価値を一層高めていくと説明がありました。

データの集約化には、サイバーテロなどのリスクもあり恐ろしいと感じましたが、DXが避けて通れない道であるならば、正しい知識を身につけて備えたいと思いました。

最後になりましたが、講師のアボットジャパン・西田先生、そしてセミナーを企画・運営していただいたスタッフの皆様に、心より感謝申し上げます。

## # 研究班

大塚 真哉 会員 (輸血検査研究班 班長)

「輸血のための検査マニュアル」が改訂されました。

輸血検査研究班班長の大塚です。

皆さんの施設では、試験管法で輸血検査を行っていますか?自動輸血検査装置を使用している施設でも、再検査や追加検査の際に試験管法を実施しているかと思います。今回は、試験管法での検査に役立つ「輸血のための検査マニュアル」がver1.3.2からver1.4に改訂されましたので、ご紹介したいと思います。

「輸血のための検査マニュアル」は、日本輸血・細胞治療学会のホームページで参考資料として公開されています。今回の改訂ポイントは、大きく2点あります。

1つ目は、直接抗グロブリン試験の項目が新たに追加された点です。これは、自己免疫性溶血性貧血や溶血性輸血副反応などの診断に有効な検査で、今回の改訂により、検査手順から臨床的な解釈までが簡潔にわかりやすくまとめられています。

2つ目は、ABO血液型の予期せぬ反応に対する検査の進め方として、「ABO亜型 鑑別フローチャート」が追加された点です。各凝集反応の結果に基づき、8つのフローチャートに分けられ詳細に予期せぬ反応の原因を追跡できるようになりました。

また、各検査の手順がわかりやすく図示されているため、初心者から日ごろ輸血検査に携わっていない方、学生さんへの研修・指導にも活用できる内容のマニュアルです。

他にも紹介しきれない細かい改訂点がありますので、ぜひ最新版の「輸血のための検査マニュアル」をご確認いただければと思います。

第5回

突撃！  
となりの検査室

兵庫県立淡路医療センター

《所在地》〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋1丁目1-137

●概要

施設名	兵庫県立淡路医療センター
病床数	441床
部署人数	技師/41人、その他/3人 男女比/1:4 経験年数/～5年目11人、～10年目10人、 11年目～20人
勤務体制	勤務時間/8:45～17:30 夜勤体制/2交代・3交代 1人体制
第三者認証	取得済み(病院機能評価)

●検査室で行っている検査領域

検体検査	採血、化学、免疫、血液、一般、微生物、遺伝子、輸血、病理
生理検査	心電図、呼吸機能、脳波、聴力検査、神経伝導速度、エコー(心臓、腹部、体表、血管、関節)

●検査領域

分野	検査機器	年間件数	備考欄
採血	BC-ROBO-8001RFID	55,774	OGTT
化学	FX82台	1,712,552	
免疫	ルミパルスG1200 2台、 Alinity 2台	213,195	
血液	XR3000 2台、SP50、 CP3000 2台	305,866	フローサイトメトリー検査
一般	UF-5000、US-3500、US- 1200	44,129	
微生物	MicroScan Walk Away40 Plus、BDバクテックFX	35,110	
遺伝子	GENECUBE、Biorad CFX 96、Film Array		CDトキシン、コロナPCR
輸血	VISION		
病理	ベンチマークULTLA等	10,070	
心電図	FCP-8800 3台	14,846	
呼吸	CHESTAC-8900、SYSTEM7	3,745	
神経生理	EEG1260、EEG1214、 natus neurology	706	
聴力	AA-M1A、RS-M1	2,313	
エコー	EpiQ7、i-800 2台、ARIETTA、 LogiqE10、Verifia	8,611	

●施設や検査室で力を入れている領域や特色、アピールポイントなど

検査領域	全般
詳細	中堅から新人まで若手技師が多いことが特徴です。部門によっては若手がリーダーとして活躍しており、ルーチン業務だけでなく、部門全体の運用を考える力が早い段階で身につく、検査室を支える大きな力となっています。

●新人教育について

新人教育の進め方	新人にはマンツーマンで指導員を配置し、業務の習得はもちろん、特に精神面でのサポートに力を入れています。業務は年間計画に沿ってトレーニングを行い、業務の到達度を確認しながら進めています。
フレッシュな技師さんからの一言	(上田のどか) 生理検査に配属され、ほぼ毎日患者さんと接しています。検査を通じて「ありがとう」と言っていたら、とてもやりがいを感じます。まだまだ足りない部分が多いですが、自分自身をもっと高められるよう頑張りたいと思います。

●採血室の状況

台数	6台	採血数 / 1日	287人
構成メンバー	技師2人、看護師4人、その他6人		

●運用面での工夫など

検体検査室の機器更新に伴い、搬送システムのレイアウトが変更され、効率的な運用が可能となりました。また、採血室にRFIDシステムを導入することで、検体採取時のリスク軽減や検体受付時の効率化につながっています。

●技師長より、読者へ向けて一言よろしくお願いたします  
当院は1956年に創立され、淡路島唯一の公立病院かつ中核施設として住民13万人の医療を支えており、検査部は24時間365日体制でその一翼を担っています。地理的ハンデに負けず、ガラパゴス化を避けるため、Webセミナーを活用するなど、教育・自己研鑽に注力しています！



細菌



病理



淡路島まつり(おどり大会参加)

《今後の予定》

兵庫県プライマリ・ケア協議会 令和6年度研究集会

開催日時/令和6年12月22日(日) 14:00~17:00 (ポスター展示13:00~)

テーマ/能登半島地震及び阪神・淡路大震災を踏まえた今後の災害におけるプライマリ・ケア

第14回 西播地区研修会

開催日時/令和7年2月6日(木) 19:00~21:00

開催場所/兵庫県立はりま姫路総合医療センター 講堂

内容/超音波検査のスクリーニング「心臓」・「腹部(肝胆脾を中心に)」

第28回 兵庫県医学検査学会・第33回東播地区研究発表会

開催日時/令和7年2月15日(土) 13:00~17:00

開催場所/加古川総合保健センター(ウェルネージホール)

内容/招待講演「認知症領域において臨床検査技師ができることとは?」・一般演題 他

第23回 泌尿器細胞診カンファレンス学術集会

開催日時/令和7年2月15日(土) 13:00~17:00、16日(日) 8:30~12:30

開催場所/神戸大学医学部会館(シスメックスホール)

テーマ/尿細胞診と尿沈渣の連携 相互理解と協力による尿検査の臨床的意義の向上



行事予定案内および求人情報は、ホームページに掲載しております。下のQRコードから最新情報をご確認下さい。

行事予定表



求人情報





## 会員グルメ情報

数珠つなぎ 68

安東 梨紗子 会員  
(関西労災病院)

今回、私が数珠つなぎのページで紹介するお店は【Ryu café】さんです。

お店は神戸市垂水区塩屋町にあり、JR塩屋駅・山陽塩屋駅から徒歩5分ほどの場所にあります。塩屋駅付近は細い路地や坂道が多く、歩いていると、ひっそりと佇む美味しそうなごはん屋さんや可愛らしいお店に出会える素敵な街です。海もすぐそばにあり、景色もとても綺麗です。お時間があれば、ぜひ散策してみてください。(道が細いので車で来られる方はご注意ください。)

2階建ての古民家をリノベーションしたお店は、温かみのある落ち着いた空間で、時間がゆっくりと流れるような穏やかな気持ちになります。ランチのメニューは月替わりで、私が訪れた際はお粥と牛肉麺の2種類がありました。なみなみとよそわれたお粥はトロトロで、優しい味が身体に染み渡ります。ピータンや紅腐乳などの小さなおかずや台湾ならではの薬味が添えられており、いろいろな味を楽しむことができます。器や盛り付けもとても素敵で、見るだけで心がときめきます。牛肉麺は、お肉がほろほろと柔らかく、スープと絡み合って美味しいです。

喫茶タイムには、台湾の王道スイーツである豆花やパイナップルケーキなどのお茶菓子、台湾茶をいただくことができます。台湾茶器を使った正式な飲み方を教わり丁寧にいただく台湾茶は、身体の芯から温まります。豆花は豆乳を冷やし固めたもので、豆やフルーツがトッピングされています。柔らかくつるりとした食感で、ランチ後でもペロりと食べられます。

ランチ(11時～、13時～)は完全予約制で、毎月15日の12時から翌月分の予約が可能です。喫茶(14時～17時)は予約不要です。お店の公式Instagramに詳細が掲載されていますので、ぜひご確認ください。とても人気のお店で予約の競争率も高いですが、癒しが詰まったRyu caféさんにぜひ一度足を運んでみてください。



### 《店舗情報》

店名	Ryu café
住所	〒655-0872 兵庫県神戸市垂水区塩屋町3-8-4
営業時間	ランチ(11:00～、13:00) 完全予約制、喫茶(14:00～17:00)
定休日	不定休(お店の公式Instagramに営業日カレンダーがあります)



## シスメックスが提案するフローサイトメトリー検査



フローサイトメーター XF-1600

検体前処理装置 PS-10

### フローサイトメーター XF-1600

医療機器届出番号:28B1X10014000009

### 検体前処理装置 PS-10

医療機器届出番号:28B1X10014000003

フローサイトメーター XF-1600、検体前処理装置 PS-10の両者をつなぐ専用ローターを用いることで、検体を並び替える煩雑な作業を省力化します。また、PS-10で読み取ったワークリストをXF-1600に転送することが可能であり、フローサイトメトリー検査の作業効率が向上します。



専用ローター

製造販売元

シスメックス株式会社

本社 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 〒651-0073

(お問い合わせ先)

支店 仙台 022-722-1710 北関東 048-600-3888 東京 03-5434-8550 名古屋 052-957-3821 大阪 06-6337-8300 広島 082-248-9070 福岡 092-687-5380

営業所 札幌 011-700-1090 盛岡 019-654-3331 長野 0263-31-8180 新潟 025-243-6266 千葉 043-297-2701 横浜 045-640-5710 静岡 054-287-1707 金沢 076-221-9362

日本東アジア地域本部 03-5434-8565

[www.sysmex.co.jp](http://www.sysmex.co.jp)



注：記載がサイトの適用範囲は規格により異なります。詳細は [www.sysmex.com](http://www.sysmex.com) のID:090589004 を参照。Note: Scope of site and address vary depending on the standard. For details, refer to the ID:090589004 at [www.sysmex.com](http://www.sysmex.com)

2023年8月作成

# Canon

私たちは、  
「いのち」から始まる。

激動する世界で「いのち」の輝きこそが未来への希望であり、前へ進む力であるとキヤノンメディカルシステムズは信じています。

医療機器メーカーである私たちの使命は、尊い「いのち」を守る医療への貢献。創業以来、つねに医療関係者の方々と手を携え、数々の技術開発に挑んできました。その想いは、経営スローガン「Made for Life」として、世界中の社員一人ひとりの胸に変わることなく息づいています。医療の現場を全力で支え、健康と「いのち」を守る臨床価値を創出するために、私たちはこれからも「いま」を拓き続けてまいります。

患者さんのために、あなたのために、  
そして、ともに歩むために。

## Made For life

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Z000059-02

